色々な花を咲かせよう

NEW FACE

URL:http://www.mu-kansai.or.jp
E-mail:sodan@mu-kansai.or.jp

URL:http://www.kansai-union.jp
E-mail:sodan@kansai-union.jp

2018.2.3
vol.42

忘れていけないのは
'不屈の精神力です！

「2018年・春闘」

〒530-0044　大阪市北区東天満1丁目10番12号　エル・エスト天満天満ビル4階　401号室

しかし、そこに留まっていては、労働運動にはならない。

問題は、そこから先に踏み出せるかどうかである。一人の相談内容の中には、その職場の普遍的問題が存在していることも少なくない。ある個人の解雇や雇止めの問題は、雇用を守るという責任感を持たず簡単に人を切って行く会社の姿勢の問題でもある。パワハラやセクハラも、そうしたことを容認・推奨する職場環境の問題でもある。さらに言えば、職場での労働組合活動がほとんどなくなり、会社が圧倒的に強く、労働者がほとんど無権利の状態に置かれていることが、およそ現在の労働問題の背景にはある。

それゆえ、駆け込み相談であっても、退職を前提とした金銭和解等のケースを除けば、一人では解決できないことが少なくない。会社に雇用を守らせる、セクハラやパワハラを許さない職場環境を作る、賃上げを求める、こうしたことは一人から複数化し、職場で分会を作り、職場での組合活動（掲示板貸与や組合事務所貸与、組合休暇の付与等）の権利を獲得し、会社との力関係を変えていく中でしか実現できない。

ＭＵやＫＵにも、もちろん職場に踏みとどまっている組合員はたくさんいる。その中には会社がしょうもない手出しをしなくなった人もいる。また、会社から冷遇され続けても、生活のため家族のために耐え忍んでいる人もいる。しかし、それが労働組合の終着点ではないだろう。それではあまりに悲しい。納得のいく働き方、納得のいく労働条件を実現すること、その道のりは厳しいと思うが、そこまで行かなければ労働組合としての価値がない。

＜まずは春闘要求をまとめ、会社に突きつけることから！＞

複数の組合員がいる職場はもちろん、一人であっても、春闘要求をまとめ、会社に突きつけて行くべきだと思う。要求内容は職場によって様々だろう。スタンダードな賃上げ要求もあるだろうし、長時間労働の是正の問題もあるかもしれない。自分や職場の人が今一番改善を求める内容をまとめて、会社に団交申入れをする。昨年もいくつかの会社で賃上げ交渉を行った。もちろん、成果が上がらなかったケースもあるが、何某かの賃上げ等を実現したケースもある。

まずは、ダメで元々、成果が上がれば儲けものというくらいの気持ちで良いのでやってみてはどうだろうか。そして、今年要求が通らなければ、来年は要求が通るように準備すればよい。それは、職場での労使の力関係を変えて行くということであり、具体的には職場で複数化し、分会を作り、組合掲示板を設置させ、組合活動を活発に行っていくということである。もちろん、会社との接近戦となるので、緊張関係も生まれるだろうが、それこそが労使の力関係を変えるということであり、要求を実現するための必要不可欠の条件である。

春闘交渉は大歓迎！
会社に春闘要求をしようと思う人は組合までご連絡を！

関西ユニオン神戸支部総合バス労働組合は、1月20日付けで、下記のような春闘の要求書を会社に突きつけ、同時に団体交渉の申入れも行いました。もちろん、要求内容はそれ

ぞれの職場、会社で様々でしょうが、参考にしていただいたら良いかと思います。是非、皆さんの職場でも春闘要求をまとめ、会社と団体交渉を行っていきましょう！

２０１８年1月２０日

神戸交通振興株式会社
代表取締役社長　見通　孝　様

関西ユニオン
　執行委員長　仲村　実
同、神戸支部総合バス労働組合
　委員長　　Ｊ、Ｍ

要求書

当組合員１３名に対して、２０１８年春季賃金引上げ等の春闘要求を、以下の通り行ないます。誠意ある回答をお願いします。

記

１、基本給の引き上げ
　現在の基本給×４％　＋　１，０００円

２、住宅手当の新設　　１５，０００円

３、家族手当の新設　　５，０００円
　この手当ては、同居の扶養親族がいる者に対して支払う。
４、無事故手当の増額　　現行５，０００円を２５，０００円とする。
５、精勤手当　　現行５，０００円を７，０００円とする。

６、労働契約法１８条にもとづく、期間の定めのない労働契約にすること。
その対象となる組合員名は、K、T、H、M、S、Mの各氏である。
なお、継続５年以上にならない組合員、O、N、S、H、Zの各氏の雇用契約については、本賃金引上げ等の交渉による妥結後になることをご承知ください。

以上

闘争報告　派遣社員の使い捨てを許さない！

組合員Ｎ

私は、派遣社員として6年半以上もゆうちょ銀行のカード･通帳紛失時の停止業務に従事してきましたが、12月28日に突然年末での雇止めを通告されました。現在、継続雇用等を求めて闘争を継続中です。

（１）経歴

私は、派遣元の㈱ニキ大阪に2011年5月雇用され、派遣社員として就労を始めました。派遣先は当初ＪＢＯ(ジャパンビジネスオペレーション)でしたが、2014年からは日本ＡＴＭビジネスサービス㈱に変わりました。これは、ゆうちょ銀行のカード･通帳紛失時の停止業務の受託会社が、ＪＢＯから日本ＡＴＭビジネスサービス㈱に変わったためであり、私の従事している業務はずっと変わっていません。

㈱ニキ大阪とは、20回以上契約を反復更新。勤続6年半以上です。契約期間は、当初6ヶ月でしたが、後に、3ヶ月に変更されました。勤務は週4日。22時（午後10時）から32時（午前8時)。直近の契約は2017年10月1日から2017年12月31日でした。なお、昨年暮れには、2018年1月1日から2018年3月31日の契約書を既に交わしていました。

（２）紛争の経緯

私は、2017年12月28日、夜勤業務終了後、会議室に呼びだされ、派遣先担当の尾崎氏と派遣元担当の末広氏から、「出勤は、2017年12月末までと」と通告され、IDカード等取り上げられました。その時、私の「問題点」をあげつらわれ、全て自分の責任だと言われました。派遣元は、2018年1月分の給料の60%だけは支給する予定だと言っていました。私は夜勤明けで意識が半ば朦朧としているのに加え、突然の話だったので、抵抗することすらできませんでした。

その後、休息を取り、正常な意識に戻った後、本当に私に全ての責任があるのかと疑問に思い、関西ユニオンに相談に行きました。相談後、会社の都合で半ば強引に、契約を2017年12月までとし、以降更新は行わない(2018年3月までの契約書を交わしているにもかかわらず)と通告してきたことは、不当、横暴であり、到底受け入れることができるものではないという事に、気付き、闘争を決意致した次第です。組合の方も、正月直前に突然雇止めにするのは許せないと怒り心頭。ファックスや郵便でやり取りしていては正月までに間に合わないということで、その日に労働組合加入通知書と団体交渉申入書を派遣元㈱ニキ大阪に直接持参し、そのまま直談判を行うことになりました。

その日の午後、組合の役員2名と私の3名で㈱ニキ大阪に行き、会社の担当者2名と話し合いを持ちました。組合からは、今後の円満な協議の前提として、まずは既に契約書を

交わしている 2018 年 3 月 31 日までの賃金の 100％保証をするよう求めました。㈱ニキ大阪は休業手当として 60％は支払う予定だと言いましたが、組合はその提案をはねつけて、再度検討の上当日の午後 5 時までに回答するよう求めました。

当日の午後 5 時頃に、㈱ニキ大阪から組合に電話が入りましたが、その内容は休業手当の 60％は払うが、それ以上は派遣先と調整できていないので答えられないというものでした。組合は、本人に就労意思があるのに会社が就労させないのであれば当然 100％保証すべきと主張し、それがないのであれば 1 月 1 日から出勤する旨伝えました。

通告通り、2018 年 1 月 1 日、午後 8 時頃、私及、組合の方 2 名が、ID カード等の返却と就労を求め、派遣先の日本ＡＴＭビジネスサービスがあるＯＡＰタワーに出向きました。しかし、日本ＡＴＭビジネスサービスでは、担当者がいないため事情が分からないと、門前払い。そのまま抗議行動に入ることも検討しましたが、元旦の夜で人通りが全くなかったため断念しました。

1 月 5 日、午前 11 時半頃、私と組合の方 2 名が、再度 ID カード等の返却と就労を求め、派遣先の日本ＡＴＭビジネスサービスに出向きました。この時、派遣先への団体交渉申入れも行いました。担当者である尾崎氏が対応に出てきましたが、派遣元と話しがついているとのことで、門前払い。そのため、そのままＯＡＰタワー前で抗議行動を行い、さらにゆうちょ銀行へも申入書持参しました。次いで、1 月 9 日にもＯＡＰタワー前において、抗議行動をおこないました。

抗議行動が効を奏したのか、1 月 10 日、派遣先の日本ＡＴＭビジネスサービスから団交応諾の回答がありました。また、派遣元の㈱ニキ大阪から、3 月末までの賃金を 100％保障するとの回答が来ました。

1 月 15 日、組合と派遣元、派遣先の三者で団交を実施。組合からは、即時の復職を求めるとともに、この度の雇止めの具体的理由について事実確認を行い、書面で回答するよう求めました。

会社の主張	組合の主張
リフレッシュルームのソファーで、女性が仮眠をとっていたが、私がその側に座ったため、女性が不快な思いをした。	そもそも女性と男性をいっしょくたに仮眠させていることが問題。女性のリフレッシュルームと男性のリフレッシュルームを分けていれば、こうした問題は起こらない。業務とは直接関係のない休憩時間中のこと。
リフレッシュルームで仮眠をとっている人がいるのに、そこにある冷蔵庫を開ける音が大きい。	そもそも仮眠室と休憩室をいっしょくたにしていることが問題。分けていればこうした問題は起こらない。また、注意されて以降は音をたてないように注意している。業務とは直接関係のない休憩時間中のこと。
リフレッシュルームで仮眠をとっている人がいるのに、部屋全体の電気をつけた。	そもそも仮眠室と休憩室をいっしょくたにしていることが問題。分けていればこうし

	た問題は起こらない。また、注意されて以降は音をたてないように注意している。業務とは直接関係のない休憩時間中のこと。
私が電話対応業務を行っていた時、他のオペレーターが私語をしていたことについて、電話終了後に大きな声で注意をした。	他のオペレーターは同僚の悪口等を大声でしゃべっていた。顧客の声を聞き取りにくいだけでなく、顧客にもその私語が聞こえる可能性もあった。注意するのは当然である。
勤怠が悪い。	11月に3日、12月に1日当日欠勤をしたのは事実であるが、いずれも風邪による体調不良のためであり、事前連絡も行っている。また、それ以前の4月から10月の間は一度も当日欠勤はない。勤怠不良とは言えない。

（3）今後について

私の場合、既に6年半以上同一の派遣会社で継続して働いていますので、今年の4月1から引続き契約更新を行えば、無期雇用転換の申込みの権利が得られるはずでした。ところが、その直前に雇止めを通告されたのです。私は、無期雇用を避けるために、このような通告が行われたのではないかと考えます。

有期雇用の労働者を正社員化する企業も少なくないと聞きます。しかし、転換ルールの適用前に雇い止めにする動きもあると聞きます。連合の調査では、法施行後契約期間や更新回数に上限がかせられたのが11%に上るとの報告もあります。また、無期雇用転換ルールを逃れるやり方として、契約終了後から再度の契約の期間までの空白(クーリング)の期間を6ヶ月以上あける方法もあるように聞きます。この制度は実際には抜け道だらけです。

かといって、手をこまねいて、傍観していても、よいものでしょうか。私としては、まず今年の4月以降も契約を更新させ、無期雇用化させたいと思っております。簡単ではないかもしれませんが、組合の力を借りつつ、何としても4月以降の契約更新を実現するつもりです。

そして、自分の経験も活かして、無期雇用化の権利を最大限使えるようにしていきたいと思います。私は政府に働きかける方法など知る由もございませんが、少なくとも、私のように身を持って経験した者が、会社に間違っていますよと、会社を教育していく以外ないと思います。安定した雇用を保障するという法改正の趣旨を会社側にも理解させ、適正な運用を努めさせなければならないと考えます。

と同時に、仮に無期雇用化が適用されても、簡単に雇止めされなくなるだけで、正社員と同じ労働条件になるわけではありません。賃金が低いままで、福利厚生を受けることができない、非正規雇用であることに変わりはありません。様々な視点から働き方を見て、その人その人にあった働き方の保障を行いながら、無期雇用化を機会に、賃金等の待遇の改善案も出し、要求していこうと考えております。

連帯ユニオン関西クラフト支部と合同情宣！

介護労働者を組織化しよう！

1月28日(日)、介護福祉士試験会場外で、連帯ユニオン関西クラフト支部と関西ユニオンで合同情宣を実施しました。介護福祉士試験は1年に1回で、大阪近辺の介護労働者が1万人以上受験に来ます。それに合わせて、1時間余りに渡って組合加入を呼びかけるビラを配布したのです。当日は雪もちらつく極寒でしたが、関西ユニオン、管理職ユニオン・関西、連帯ユニオン関西クラフト支部の組合員が総勢16名集まりました。1500枚くらいのビラを配布したので、今後介護労働者からの相談が増えるのではないかと期待しています。そして、相談が入れば、関西ユニオンと連帯ユニオン関西クラフト支部が協力して対応に当たることにしています。

これまでも機関誌その他で繰り返し述べてきましたが、企業内組合という形態には限界があります。一方、コミュニティ・ユニオンも頭打ちになっているのが実情です。そこで、管理職ユニオン・関西と関西ユニオンにおいても、業種別・職種別の組織化を方針に掲げてきました。とは言っても、必ずしも順調に業種別・職種別組織が進んでいるわけではありません。実のところ、掛け声だけで、実際にはほとんど進んでいないと言っても過言ではありません。

しかし、いつまでも手をこまねいていてはいられません。そこで、連帯ユニオン・関西クラフト支部と合同で、介護労働者の組織化を積極的に進めるために、今回の情宣を企画したわけです。業種別・職種別組織化は、単独のコミュニティ・ユニオンで形を作れるほど甘いものでないことは百も承知しています。組合横断的な協力が不可欠です。そういう意味では、今回の企画はその第一歩を踏み出したものだと自負しています。

関西ユニオンは今年中にも関西クラフト支部との統合を実現したいと考えています。今後も共同の行動を積み重ねつつ、共通の目標である業種別・職種別組織化に向けて具体的に動いていくつもりです。組合員の皆さんも、是非そうした行動にご参加ください。

介護・福祉の仕事を続けるならユニオンに入ろう！

低賃金
他の仕事より
10万円/月少ない
たまらんワ

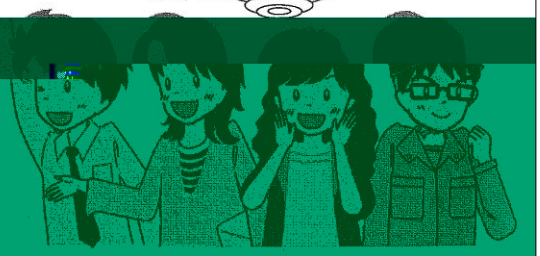
人手不足
募集しても人がこない

働きやすい職場にしよう
団体交渉で労働条件をきめよう！

結婚・子育て
将来設計のできる賃金を！

年休が使えない
休まれると困るんだって

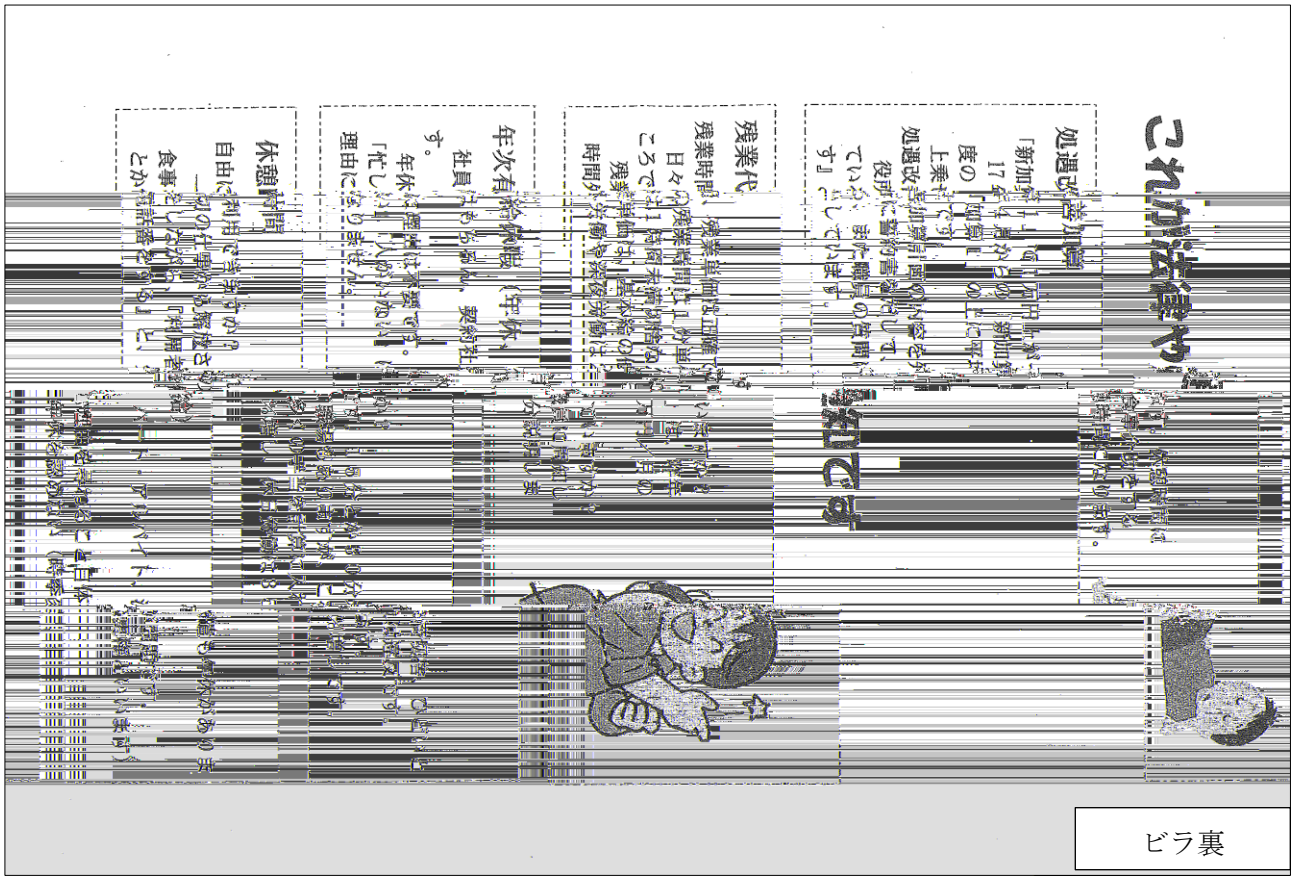
ユニオンに相談



サービス残業
記録・申し送りなど

介護ユニオン ☎(06)6881-0110　大阪市北区東天満1-10-12　エルエスト天満ビル401号

ビラ表



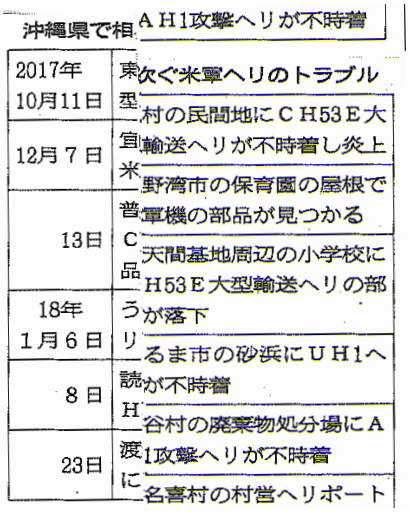
ビラ裏

学習会「知ってはいけない　隠された日本支配の構造」

第１章　日本の空は、すべて米軍に支配されている

１月 19 日、８名の参加で矢部宏治著の「知ってはいけない　隠された日本支配の構造」（講談社現代新書）１～４章までの学習をしました。

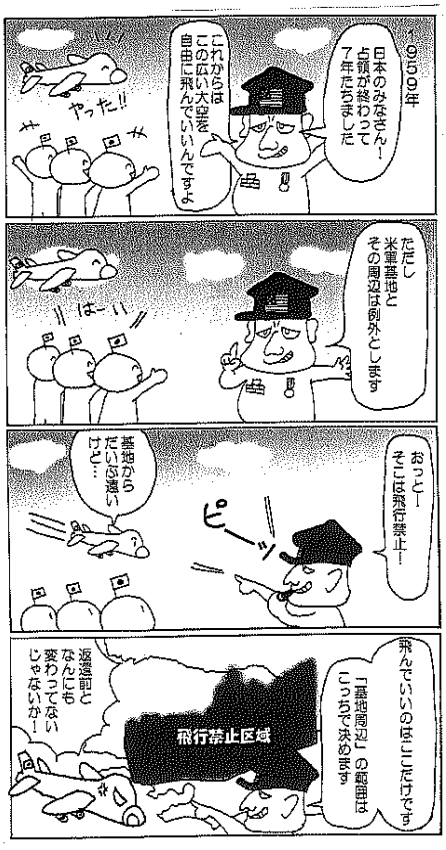
まず、この間の沖縄で起こっている米軍機の墜落や不時着、学校への落下物の実際に起こっている事故から話を始めました。沖縄の空を何の許可も取らずに米軍のヘリコプターなどが自由に飛び回っています。米軍基地外で墜落しても不時着しても米軍がその周辺を囲い、散乱したエンジンや破片を持ち去り、沖縄の警察や報道陣がその外で眺めているテレビニュース、新聞記事を見たことがあります。学校や民有地に墜落や不時着してもですよ。



沖縄のこの現実の話から、第１章「日本の空は、すべて米軍に支配されている」に入りました。沖縄では、米軍による訓練事故や暴行が多発していますが、日本の空の制空権は、米軍が支配しています。日本の首都圏の上空は米軍に支配されていて、日本の飛行機（日航機や全日空機など）は米軍の許可がないと飛べません。図１の米軍「横田空域」を避けた離着陸をしなければなりません。

したがって在日米軍のどんな訓練もこの空域では、日本政府から許可を取る必要もありません。非常に危険な低空飛行訓練もやっています。

「岩国空域」、「嘉手納空域」もあります。沖縄の「嘉手納空域」は、沖縄全体です。2010年に返還されたことになっていますが、実際はそうではありません。『沖縄上空の航空管制権はすべて返還するが、ただし「米軍基地とその周辺は例外とする」という密約を結んでいたのです。さらに密約の協議によって、「その周辺」という言葉の意味を途方もなく拡大していく』ということです。



日本が 1945 年の敗戦後，ＧＨＱが占領します。日本の制空権は当然ＧＨＱです。その後は、右の４コマ・マンガのとおりです。

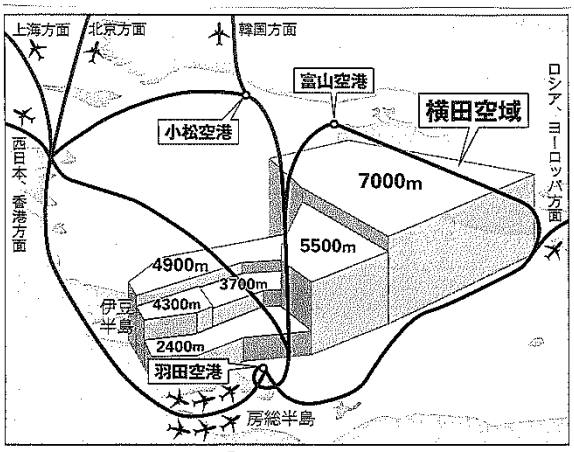


図１ 首都圏の上空に広がる「横田空域」

１９５２年の占領の終結時に制定された日本の国内法である「航空法特例法」です。航空法特例法第３項「前項の航空法〔＝米軍機と国連軍機〕（略）については、航空法第６章の規定は（略）適用しない」。「航空法第６章」とは、航空機の安全な運行について定めた法律です。離着陸する場所、飛行禁止区域、最低高度、制限

～名著を読む～

「大転換」　カール・ポラニー　　東洋経済新報社

さて、「悪魔のひき臼」です。

たとえばヒエロニムス・ボッシュの画風で巨大な「悪魔のひき臼」が小さな人々を残忍に擂り潰しているイメージが、私の頭の中にありました。なので、原典を読んでみようと思い立ちました。「大転換」の第3章「居住か、進歩か」に、カール・ポラニーは次のように書いています。

「どのような『悪魔のひき臼（satanic mill）』が、人間を浮浪する群集へとひき砕いたのか」、さらに、『悪魔のひき臼（satanic mill）』の訳注として、次のように記載されています。

「ウィリアム・ブレイクの詩篇『ミルトン』（1804）の序詩の第二節に″And was Jerusalem builded here/Among these dark Satanic Mills″とある。ブレイクは、産業革命という技術の発展過程がもつ文化に対する破壊性を、ロゴスの力で生命を粉々にする『悪魔のひき臼』にたとえている」

（余談になりますが、ウィリアム・ブレイクといえばトマス・ハリスの「レッドドラゴン」のメインキャラの背中にブレイクの「巨大な赤い龍と太陽の衣をまとった女」が刺青されています。「レッドドラゴン」は1986年と2002年と二度映画化されています。それから、ジム・モリソンの「ドアーズ」はブレイクの詩から命名されています）

私は、少々乱暴に、資本主義経済システムを「ひき臼」だと考えています。

この巨大な「ひき臼」は人々（労働者たち）を擂り潰してゆくのです。肉体を擂り潰し、精神を擂り潰し、人間性を擂り潰し、人権を擂り潰してゆく。公害、過労死、メンタル不調etc・・・。

「ひき臼」を回しているのは誰なのか？

こんな「ひき臼」システムはいらんやろ！

参考図書

「K・ポラニー　新自由主義の根源的批判者」　野口建彦

「資本主義はなぜ自壊したのか」中谷巌
「資本主義以後の世界」中谷巌

ちなみに、「大転換」が発表された1944年には、ハイエクの「隷従への道」が発表され、ブレトンウッズ協定が締結されました。

～映画感想～

「母～小林多喜二の母の物語」

三浦綾子原作　山田火砂子監督　　組合員　U

堺市の栂文化会館上映会に行きました。当日は思ったより大勢の人が見に来てまして、前列しか空席がない状況でした。映画の内容は、三浦あや子の原作なので、キリスト教思想が、映画の最終場面で特にあったような気もします。

小林多喜二は、警察による取り調べ中虐殺されました。特高警察は、小説を書けなくするために、多喜二の手の指の骨を全部折っていました。戦後長い年月がすぎても、主人公である母セキは最愛の息子のことが脳裏から離れず、辛い日々を甘受していました。そして、娘のチマに教会に誘われ教会に通う日々で、セキは、罪のないイエスが手のひらと足の甲に五寸釘をうたれて十字架上で迎えたむごたらしい死と、特高警察に虐殺された多喜二の死を重ね合わせ、最愛の我が子を無惨に殺されたマリア様は、どれほど辛かっただろうと、聖母子の絵[ピエタ]をみながら涙するのです。

セキは、牧師に問いかけます。「多喜二は、イエス様がいる天国にいますでしょうか？」牧師は答えます。「イエス様は、この世にいる時に弱い立場の人に親切にして、あわれみをもつ人は神様に祝福されますといわれました、多喜二さんは、貧しい人々たちの味方になり、真実な小説をかき、人間の尊厳を訴え、そして国家権力により、殺されてしまいました。そんな人を神様は見棄てません。きっと、今彼はイエス様とパラダイスにいます。」と。牧師の言葉を聞いたとき、セキは微笑みをうかべました。

その場面を映画でみて、私は、いつの時代でも、親が子を慈しむことは人間の普遍的な愛情なのだなぁと思いました。臨終のさい、セキは多喜二の元気だった頃の面影を思い浮かべながら、自分の一番すきな讃美歌をずさみ、多喜二のまつ天国に旅立ちます。

この映画を制作した山田監督は、上映前の挨拶で、日本が再び暗黒の軍国主義国家にならないように、二度と手塩にかけて育てた最愛の我が子が国家権力により戦場に追いやられることがないように、反戦の祈りをこめて作りましたと言っていました。

しかし、今時代は、テロ等準備罪という多喜二の時代の治安維持法に類似するような法律も成立していますし、注視していかなければなりません。憲法改正案も政府与党、自民、公明、維新の会で賛成論議も具体化しつつあります。戦争放棄の９条の改訂等、いつかきた道に日本が再びもどらないように、と私自身も思っています。

～Mr.K のあれこれエッセイ第 28 回～

釜山での正月と冬の札幌の旅！

海雲台を散

お正月は 15 年ぶりに訪れた釜山で過ごしました。中央駅前の東横インに 12 月 30 日から 4 泊して釜山タワーに登ったり広安里や海雲台の砂浜を歩いたり、大邱まで高速バスで行ったりしてのんびり過ごしました。大晦日はテレビで紅白歌合戦を観た後、南浦洞の方で花火が打ち上げられるのを楽しんだあと床につきました。

どうして釜山ってこんなに寛げるのかなって。年末は仕事が詰まって疲れたのか体調が良くなかったのですが、2 日目くらいから徐々に元気になって帰る頃にはすっかり普段の体調に戻っていました。

滞在中ソウルより常に 6 度くらい気温が高かった釜山。そうか冬はソウルではなくて釜山だなとつくづく思いました。海雲台ではヌタウナギの網焼きを食べたし、大邱のスジェビも美味しかった。西面のロッテデパートは昔のままの賑わい。南浦洞にはすごく広いロッテデパートができていました。釜山の定番のナクチポックム（タコと野菜の煮込み）は初日にここで食べました。

大学生最後の春休みに初めて訪れた韓国が釜山。その後もいっぱい思い出が残っていて、今回釜山行を計画したときは、行けばきっと昔を思い出して感傷的な気持ちになると思っていました。でも釜山はかつての鄙びた感じからソウルを思い出すほど都会的になっていて時の流れを感じました。私も変わったし、釜山も変わりました。過去を振り返らず未来に生きて行こうって決意できました。

大倉山展望

1 月 19 日と 20 日はふるさと納税ピーチポイントでちょっと遠出の札幌旅行。こちらも 14 年ぶり。北海道旅行は一年中ベストシーズンだけど、私はやっぱり冬が好き。今回スキーには行かなかったけど、札幌市内をじっくり歩いてみました。JR タワー展望室 T38 は札幌駅直結の眺望スポット。宿泊した札幌ビューホテルは大通公園に面したナイスロケーション。雪まつりがまだ始まってないのでアゴダサイトから 70%OFF で予約できました。RUMAH に投資してからはホテルについていろいろ観察するようになりました。休暇で泊まるときも運営とかスペックとか客筋とかをチェックします。遊びと仕事の境界がだんだん曖昧になってきています。（笑）

翌日丸山公園から大倉山ジャンプ競技場まで雪道を歩いてみました。展望台からの景色は最高で羊肉のバーベキューにもありつけました。大通駅、すすきの、狸小路あたりを歩いて夕方新千歳空港に着くとなんと散々待たされた挙句関西空港行が欠航。千歳市内のカオサン千歳ファミリーホステルで一夜を過ごすことに。英語をしゃべる白人の人たちや中国人の家族連れたちとダイニングを共有してリーズナブルに過ごしました。こういうのも旅にはあっていいかなって感じ。翌日は新千歳空港でジンギスカン丼と乗り継ぎの仙台空港で牛タンタンメンを食べてのんびり帰ってきました。スケジュールを組まない休暇の旅だからこその楽しみ方ですよね。次回も旅行記。17 年ぶりのあの国へ行ってまいります。お楽しみに！！

メタボ解消！　遊歩会ハイキング

メタボなんか気にしない！カキオコ＆海鮮バーベキュー

もはや遊歩会も来るところまで来てしまったという悲哀をぬぐえない。リーダーＯ氏は遊歩会の初心を忘れ、会員の強い反対にもかかわらず、またまた年初に「食べ歩き」を計画。会員の苦衷は報告記を熟読いただきたい。

さて、1 月 14 日、大阪駅で時刻表を見ると、上下線とも最短 60 分遅れ、最長 90 分遅れであり、会員からは「大阪駅に向かっているが電車が動かない」「集合時間に間に合わない」と続々とメールや電話。会員らは動揺を隠せなかったが、その中でＯ氏だけが、カキオコへの執念に目を爛々と輝かせ、不動の決意を表明。さすがのＪＲもＯ氏の欲望に脱帽したのか、一行は約 1 時間遅れで出発した。姫路・赤穂と乗り継ぎ、当初の目的地であるうらぶれた港町日生には約 90 分遅れで到着。

会員らはそぞろ歩きながら港町の風景を楽しんだが、Ｏ氏は、カキオコ（カキ入りお好み焼き）、海鮮丼、海鮮ＢＢＱで頭が一杯のようで、いつもに似合わず口数少なくギラギラしたオーラを発していた。駅から約 20 分で「海の駅しおじ」－「五味の市」。ここでカキオコ組とＢＢＱ組に分かれて、それぞれ昼食となった。カキオコは、カキが 10 個ほども入ったジューシーなお好み焼きであった。ＢＢＱは五味の市でバケツ一杯のカキとエビ、鰤、鰆等を購入して、炭火に金網で 90 分焼き放題。食材を購入した「五味の市」はほとんど店じまいの様子だったが、それが幸いして、店のおばさんが残ったカキをバケツに山盛りにしてくれて、たったの 2000 円！

ここでＯ氏が本領を発揮。育ちの良いＯＨ氏がカキの殻を外せずにもたもたしていたところ、Ｏ氏が交替を申し出た。そして、食欲の前に炎も火傷も意に介さず、あざやかな手つきでカキの殻を外していく。一同、Ｏ氏のおかげで半生のジューシーなカキを満喫できた。この世に生を受けて 70 年、ほとんど社会の役に立ったことのないＯ氏だが、こんな人にも天は一つくらい取り柄を与えるものだと、一同密かに感心したものである。ＨＲ氏が例のごとく自家製のひれ酒を持参してくれたが、これがまた焼きカキと絶妙のハーモニー。カキの量の多さと美味しさに、一同時間の経つのも忘れ、帰りの時間を延長して焼きカキを堪能した。お土産を買う時間も無くなり、赤穂城見学もできなかったが、一同満杯のカキで腹を満たし、えも言われぬ満足感で心も満たして、帰途についたのである。

もはや一同にかつての精悍な遊歩会メンバーの面影はない。今回は新しくＫＢさんと連帯ユニオンクラフト支部からも二人参加したが、彼らもプヨプヨの仲間入りかと思うと、複雑な気持ちを禁じ得ないところではある。（文責：リーダーＯ氏、修正：ＯＨ）

新入組合員学習会

入門編では、労働者はどんな権利を持っているのか？　労働組合はどんな権利を持っていて、何ができるのか？　団体交渉の進め方など、さしあたりすぐに知っておいた方が良いことを中心にレクチャーします。応用編では、職場での組合活動、労働条件改善、不当労働行為などについてレクチャーする予定です。新入組合員の皆さんはもちろん、そうでない方もどんどんご参加ください！

新入組合員学習会（入門編）　2 月 10 日（土）14 時～　@組合事務所
新入組合員学習会（中級編）　2 月 23 日（金）19 時～　@組合事務所

産業カウンセラーのメンタルヘルス相談受付

（予約が必要です）

日時　2 月 13 日（火）午後 3 時～5 時　　ユニオン事務所
2 月 27 日（火）午後 3 時～5 時　　ユニオン事務所

※ユニオン組合員で、相談をご希望の方は、事前に組合事務所（06-6881-0781）まで申し込んでください。希望者が多い場合は、先送りになりますのでご了承ください。

おおさかユニオンネット春闘集会

2 月 16 日（金）18 時 30 分～　@エルおおさか

大阪では、活発に労働運動を展開している組合が互いに協力し、労使紛争の解決や労働条件の向上などに取り組んできた伝統があります。春闘集会には多くの組合が集まり争議の報告や支援要請等も行われます。組合員の方は是非ご参加ください。

～政治・社会問題学習会～

「知ってはいけない隠された日本の支配構造」

日時：2 月 17 日（土）14 時～　@組合事務所
講師：仲村MU書記長

労働運動も政治状況と向き合わなければならない時代。是非、ご参加を！

シニアグループ学習会

今回はまさしくシニアグループならではの企画。こんな企画は、他の労働組合ではまずありません。

日時：3 月 3 日（土）15 時～　　@組合事務所にて
内容：さあ、いよいよ「終活」だ！

なお、学習したことをすぐに、そして有効に活用していただけるように、学習会後の懇親会ではたっぷりアルコールを摂取していただくことも計画しています。まさに一挙両得、至れり尽くせりの企画。是非、ご参加を！

映画を観よう！（連帯ユニオンクラフト支部との合同企画）

○「襤褸の旗」（1974 年　日本　監督吉村公三郎）

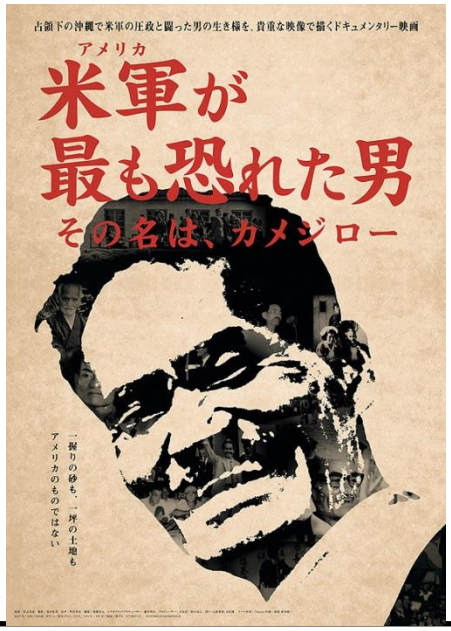
2 月 24 日（土）15 時～　@組合事務所

【あらすじ】足尾銅山は、明治 9 年、資本家・古河市兵衛に買収されてから 10 年足らずで生産量日本一の大銅山にのし上ったが、銅が渡良瀬川にタレ流され、沿岸農村は、凄惨な毒と死の荒野と化した。銅山操業停止を求めて近代日本最初の大きな農民の闘いが広まった。その農民たちの先頭に、栃木県選出代議士の田中正造がいた。明治 33 年 2 月 13 日、請願書をふところに、農民の若き代表・一ノ瀬宗八や多々良治平らを先頭に、農民代表 1 万 2000 名が、東京に押し出して行った。しかし、利根川を渡る川俣で待ち受ける武装警官、憲兵の大部隊に苛烈な大弾圧を加えられた。東京では、帝国議会で田中正造が、この事件を取り上げ、激しい鉱毒弾劾質問演説を行った。田中正造の追及に対し、総理大臣山県有朋は「質問の趣旨その要領を得ず」と、答弁を拒否した。正造はついに憲政本党脱党、議員を辞職した。そして、正造が嫌っていた社会主義者・幸徳秋水を尋ね、天皇への直訴文執筆を依頼した。前代議士の天皇直訴で天下を驚かせた田中正造を、政府は“狂人”扱いにし放免した。以後も、正造不屈の闘いを続けるが日露戦争のファシズム化の中で停滞を辿らざるを得なかった。古河と政府は、洪水防止の一大遊水池開発の名目で、闘いの中心谷中村一帯の壊滅をはかった。なおも踏みとどまる窮迫の農民たちに、目をおおう残酷非情の土地収用法＝強制破壊を執行していった……。それから 6 年後、孤独で巨大な先達・田中正造が息を引きとった。

○「米軍（アメリカ）が最も恐れた男～その名は、カメジロウ」（監督：佐古忠彦）

日時：3 月 10 日(土)もしくは 3 月 24 日（土）13 時～（決まり次第機関誌に掲載）
場所：学働館

（監督の言葉）住民が暮らす場所で唯一の地上戦が行われ、とてつもない犠牲を強いられた上に、27 年に及びアメリカに軍事占領された沖縄の戦後の歩みは、日本本土とは全く違う。その沖縄戦後史を瀬長亀次郎の生きざまをとおしてみることで、いまの沖縄の闘いの意味が見えてくる。現代の人間が「あなたならどうする」と教えを乞う「亀次郎」が残した言葉。米軍機密資料に隠されていた占領軍と亀次郎の闘いの痕跡。歴史を解き明かす未公開映像と証言。そこにみえるのは、昔話ではない、私たちが生きる「いま」だ。



～メタボ解消！　遊歩会～

120円で行く二府三県ローカル線の旅

ＪＲでは、例えば大阪駅から天満駅に行くとして、どのルートを通っても値段は120円。ぐるっと大回りしてもキセルにはなりません。そこで、大阪駅を出発し、ローカル線をひたすら乗り継いで二府三県を回って最寄駅に至るという、鉄道ファンにはたまらない旅を企画しました。車窓の風景を楽しみ、歓談しながら、ゆったりとした一日を過ごしましょう！

日時：2月11日（日）9時45分　場所：大阪駅連絡橋改札口

～遊歩会　3月企画～

秀吉の埋蔵金伝説の郷と多田銀銅山を訪ねる

日時：3月11日（日）午前10時　　集合：日生中央駅改札

～遊歩会　4月企画～

花の吉野に遊ぶ（予定）

日時：4月8日（日）または4月15日（日）

桜の咲き具合等を予想し、来月の機関誌には確定日時と詳細を掲載します。

毎年恒例　春闘御堂筋デモにご参加を！

日時：3月18日（日）午後1時集合、2時デモ出発
場所：中之島公園駅前広場（中央公会堂東側の公園）
デモコース：大阪市役所前から御堂筋を南下し、難波で解散

今年は、管理職ユニオン・関西と関西ユニオンでも、できる限り春闘に取り組みたいと考えています。集会では、各職場での春闘の成果や経過報告をしていただく予定です。年に一度の春闘デモです。組合員の皆さんはこぞってご参加お願いします。